

「チーム学校」で子どもも守れ

阪神・淡路
大震災20年 首相「被災地訪れたい」

衆院予算委員会は13日午 関する締めくくり質疑を行
前、2015年度予算案に、公明党の浮島智子さん

◇ 衆院予算委で浮島さん ◇



質問する浮島さん＝13日
衆院予算委

が質問に立った。

浮島さんは、阪神・淡路

大震災から今年で20年の節
目となったことに言及。安

倍晋三首相に対し、「神戸

に来て追悼の誠を捧げても

らいたい」と要請した。安

倍首相は、引き続き被災者

に寄り添った支援が重要で

あるとの認識を示した上

で、「機会を捉えてぜひ被

災地を訪れ、哀悼の誠を捧

げたい」と応じた。

また、浮島さんは川崎市

内で先月、中学1年生が殺

害された事件に触れ、地域

の人が学校運営に関わる学

校運営協議会やスクールカ

ウンセラ、スクールソー

シャルワーカー、児童相談

所、警察などの関係者が連

携を深める重要性を主張し

た。

その上で、大阪教育大学

付属池田小学校が児童殺傷

事件後に進めた安全対策を

モデルに、大阪教育大学が

安全な教育環境整備に取り

組む学校を「セーフティプ

ロモーションスクール」と

して認証する制度を創設し

たことを紹介し、「関係者

をつなげる仕組みとして全

国に広げる必要がある。地

域主導の『地域立学校』へ

改革し、問題に早期発見・

対応を図るべきだ」と力説、

関係者が一体で課題に対処

する「チーム学校」の実現

を訴えた。

安倍首相は、川崎市の事

件を二度と繰り返さないた

めにも「関連機関が連携し、

社会総掛かりで子どもを育

てる学校に転換すべきだ」

と述べ、セーフティプロモ

ーションスクールを「大変

に先進的な取り組みだ」と

評価し、「チーム学校とい

う形で子どもたちの成長を

支えたい」と答えた。